

えびなの教育

発行 年2回・6,000部
※教職員及び児童生徒はスマチ配信します。
編集・発行 海老名市教育委員会
〒243-0422 海老名市中新田 377
☎046(235)4916 FAX046(231)0277



←市のホームページはこちら

海老名市教育委員会の目標
「誰ひとり取り残さない教育」

令和6年3月31日付けで任期満了になった伊藤文康氏が教育長に、令和6年1月31日付けで任期満了になった濱田望氏が教育委員に再任されました！

教育長あいさつ『みんな慣れたかなあ』

令和6年度新学期・第1学期がはじまりました。

こどもたちひとりひとりが、初めての学校、新しい学年、新しい学級、そして、そこでともに過ごす、友だちや先生に、「みんな慣れたかなあ」と思うところです。

新しい環境で生活をはじめめることは、これまで何度もその経験を積み重ねてきた大人でも、緊張するものです。疲れるものです。

はじまりは、ご家庭と地域、学校で、こどもたちひとりひとりの思いをていねいに支えたいものです。

「みんな慣れたかなあ」、えびなっこをよろしくをお願いします。

さて、令和6年度、海老名市教育委員会は、中学校給食の完全実施、学校教材費の全学年無償化、神奈川県とともに取り組む

「フルインクルーシブ教育」など多くの事業を進めます。私としては、みなさんの声を聞き、みなさんとともに、事業を作り上げたいと考えますので、引き続きのご理解とご支援をよろしくお願いします。

海老名市教育委員会公式
Instagram です。
フォローをお願いします。



教育委員あいさつ

昭和40年代に海老名市立有馬小・中学校で学び、今でも校歌を覚えています。

令和の時代になりましたが、その当時の仲間とは今でも交流があり、地域活動においても大きな財産となっています。

学校教育は大きく変革しています。ICTの普及は目覚ましく、子供たちのまなびもその変容ぶりには、保護者の皆様も驚かれていますのではないのでしょうか。

自分には学校給食の経験はありませんが、四月からは中学校の完全給食が始まりました。中学生の皆さんには大きな思い出になると思います。

海老名市教育大綱では「誰ひとり取り残さない教育」を目標に掲げ、保護者・学校・地域と行政が連携することで、この目標を成し遂げていきます。

そのための施策を5本の柱でまとめています。短期の目標も、中・長期の目標も海老名の子供たちに幸せになっていただくこと。成長してから、「海老名で学んで良かった」と思える学校教育にしていくなために、今後も教育委員として皆様とともに活動していきます。



はまだ のぞむ
濱田 望 氏

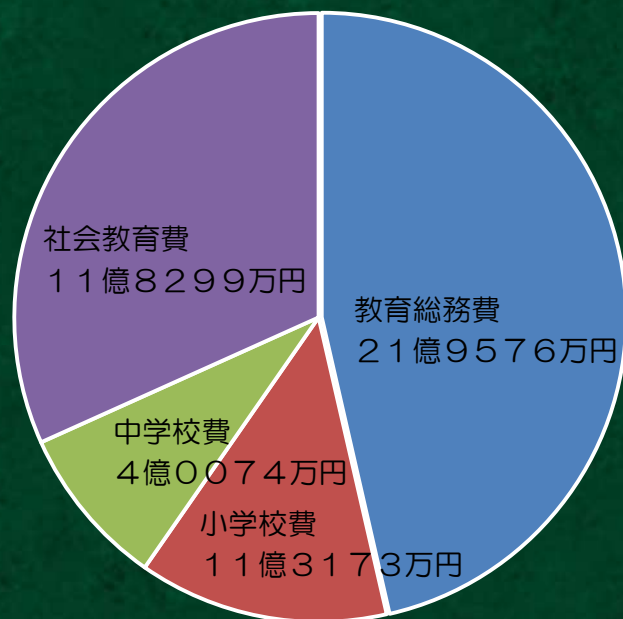
令和6年度 教育委員会の予算

令和6年度の海老名市教育委員会の予算をお知らせします。
今年度は、これまでの継続事業のほか、教材費支援や小学校スペシャルサポートルーム事業などの新規事業の充実を図ります。



◇教育委員会予算◇……………49億2,079万円（繰越含む。）

○令和6年度予算重点事業【教育総務費】



① インクルーシブ教育推進事業費…

1億6,229万円

② 学校給食関係経費…

13億9,929万円

【小学校費及び中学校費】

③ 児童・生徒教材費支援事業費…

1億5,067万円

④ 小中学校施設整備事業費…

2億3,653万円

【社会教育費】

⑤ ライフ・スタディサポート事業費…

2,783万円



全児童生徒の教材費無償化！

教材費支援事業費
1億5,067万円

保護者負担の更なる軽減を図るため、市内在住の全児童生徒を対象に教材費の無償化に取り組んでいます。これは、県内初の取組で、全国でも先進的な取組です。

対象となる教材は、ワークブックやドリルなど、保護者の方が教材費として負担していたものに加え、これまで希望購入品としていたリコーダーや習字セット、絵具セットも公費で負担します。

また、保護者負担経費のあり方について、平成29年度に検討会を設置して方針を定めましたが、策定から5年が経過したため、今年度改めて検討会を設置し、検討を進めます。



【お問い合わせ】

就学支援課 就学支援係

電話 046-235-4918



学校給食関係経費
13億9,929万円

令和6年4月から中学校 給食開始！

中学生の食の保障と保護者負担の軽減を図るため、4月9日（火）から中学校給食を開始しました。

安全安心な給食の提供はもとより子どもたちが給食を楽しめるよう、季節の節目にちなんだ行事食や特色ある給食を提供し、「魅力ある給食」を実現します。



【お問い合わせ】
就学支援課
健康給食係
046-235-4921

小中学校施設整備事業費（繰越含む。）
2億3,653万円

小中学校体育館への 空調設置を進めます！

児童生徒を熱中症から守るとともに、避難所としての機能強化を図るため、令和7年度までにすべての小中学校体育館への空調設置に取り組みます。

令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算で、有鹿小学校、ほか8校の設計業務を進めるとともに、大谷小学校については設置工事を実施します。また、柏ヶ谷小学校、門沢橋小学校及び海老名中学校にはリースで空調機を設置します。



【お問い合わせ】
教育総務課 施設係
046-235-4917



インクルーシブ教育推進事業費
1億6,229万円

小学校にスペシャル サポートルームを設置！

「今日はどうしても教室に入りづらい」「少しの時間だけ静かな場所で落ち着きたい」、そんな子どもたちの居場所となる「スペシャルサポートルーム」を全小学校に設置します。

これまでも各学校が空き教室等を利用して取り組んでいましたが、令和6年度から市費のスペシャルサポートルーム支援員をほぼ毎日配置し、安心して過ごせる環境づくりと支援体制のさらなる充実を図ります。



【お問い合わせ】
教育支援課 支援係
046-234-8764



ライフ・スタディサポート事業費
2,783万円

西部地区にライフ・スタディ サポート事業を開設！

令和5年度までは中部地区（海老名中学校区・大谷中学校区）、北部地区（柏ヶ谷中学校・今泉中学校区）及び南部地区（有馬中学校区）において、生活困窮世帯の中学生を対象にライフ・スタディサポート（学習支援）事業を実施してきました。令和6年度からは、さらに海西中学校区（一部今泉中学校区）に新たな拠点を設けて、実施することになりました。対象となる方には、6月以降にご案内を送付します。



【お問い合わせ】
学び支援課 学び支援係
046-235-4926



国際交流事業 ～中学生による台湾の中学生とのオンライン交流～

海老名市初の試みとして、令和5年12月に大谷中学校の2年生、令和6年3月に海西中学校の2年生が、台湾の中学生とオンライン交流を行いました。

最初に、それぞれの国の文化や学校について紹介し合った後、5・6人のグループに分かれて会話をしました。最後は、スクリーンの前に集まり記念写真を撮って終了しました。

生徒からは、「国は違っても同じ中学生なんだとわかった。」「意思疎通ができてうれしかった。」「正しく話すことよりも楽しく話すことが大事だとわかった。」「難しかった。でももっと英語を話せるようになりたいと思った。」などの感想が聞かれました。



【お問い合わせ】
教育支援課 指導係 046-235-4919



「三日月井戸」、「独鈷井戸」が海老名市登録史跡になりました！

上今泉四丁目の常泉院境内の東側と山門の脇には湧水があり、「三日月井戸」、「独鈷井戸」と呼ばれています。この二つの井戸は、水道が敷かれるまで、お寺や近所の人々が生活用水に使っていました。市内に残る貴重な湧水で、上今泉、下今泉の「今泉」の名前の由来にもなったとされています。弘法大師が杖をついたところ水が湧いたという昔話も伝えられる、海老名の貴重な文化財です。

【お問い合わせ】
教育総務課 文化財係
046-235-4925



ご寄附ありがとうございます

寄付者	寄付内容	数量	寄付財産の活用先
株式会社 MOTTERU 代表取締役 櫻田 良太 様	スマートフォンスタンド	1,160個	市立中学校 3年生
一般社団法人 グランファミリア 代表理事 井戸 光次朗 様	救急セット	1,250個	市立小学校 1年生
海央株式会社読売センター海老名 代表取締役 星野 龍吉 様	薬用ハンドソープ 読売KODOMO新聞 読売中高生新聞	480本 7,096部 3,395部	各小中学校 各小学校 各中学校
平塚信用金庫 理事長 尾上 達也 様	児童用図書	54冊	市立図書館
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 ペンディング神奈川中央支店 支店長 狩野 定夫 様	海老名市中学校吹奏楽部演奏会 実施のため寄附金	300,000円	各中学校